

New Dedication 2026

～ 新たな貢献へ～

2024年3月期決算説明会

2024年5月23日(木)

大手町1stスクエア

13:30～15:00



未来へアクセス

株式会社 日伝

(単位：百万円)

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績			
			計画	実績	計画比	前年比
連結売上高	123,964	131,609	132,000	126,912	96.1%	96.4%
連結営業利益	5,502	6,287	5,600	5,809	103.7%	92.4%
連結経常利益	6,082	6,756	6,200	6,431	103.7%	95.2%
連結当期純利益	4,245	4,967	4,300	4,674	108.7%	94.1%

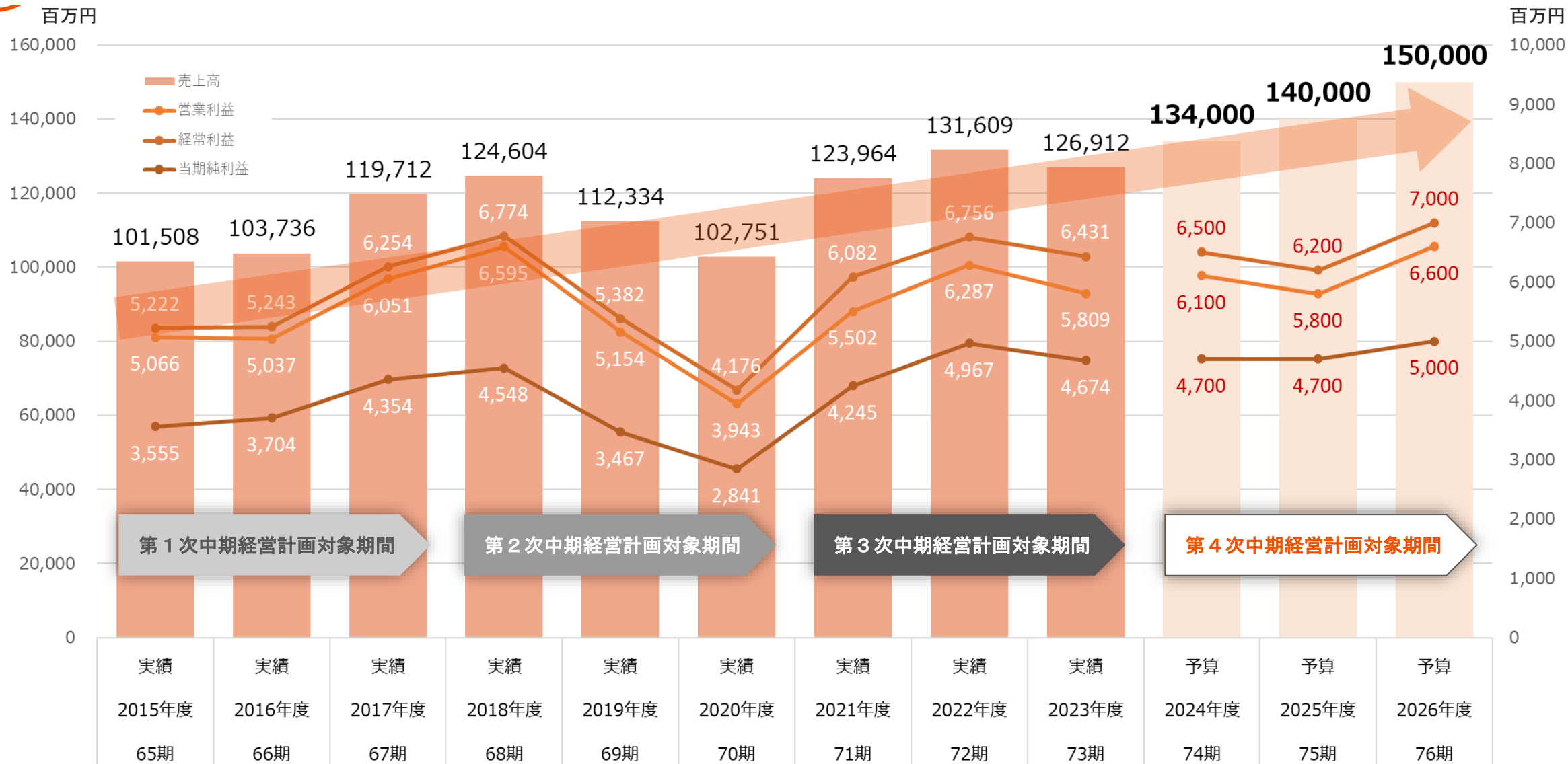
『**New Dedication** 2026』

～ 新たな貢献へ～

- 1 将来にわたり「なくてはならない企業・日伝」を目指す
- 2 お取引先様とともに「モノづくりの仕組み・産業の基盤」を支える
- 3 「挑戦すること」・「やりきること」に拘る企業風土をつくる

	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
連結売上高	1,340億円	1,400億円	1,500億円
連結営業利益	61億円	58億円	66億円
連結経常利益	65億円	62億円	70億円
連結当期純利益	47億円	47億円	50億円

中期経営計画 業績推移（実績・予測）





PURPOSE ～ パーパス ～

「つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、
誠実にモノづくりの未来に貢献する」

日々伝える

日伝は設立以来、人の想いを繋ぎ、
モノづくりを支えてきました。

つくる人には、市場の変化を伝え、
つかう人には、技術の進化を伝え、

これまで磨き上げた知識と、新たな挑戦で、
これからもひたむきに日本のモノづくりを誠実に支え続けることで、
世界の持続的な成長・発展に貢献します。

PURPOSE ～ パーパス ～

「つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、
誠実にモノづくりの未来に貢献する」



市場戦略

パートナーシップ
戦略

成長市場での
ビジネス拡大

社会・環境課題
ビジネスの取り組み

サステナビリティ
経営



コーポレート戦略

人財戦略

投資・財務
戦略

業務改革
DX

BCP

世の中の動き ニーズの背景

- ▶ 2024年問題
- ▶ 半導体関連投資の拡大
- ▶ カーボンニュートラル
- ▶ EVへのシフト
- ▶ 後継者問題
- ▶ 中国経済の低迷
- ▶ 世界的なインフレ基調
- ▶ 長期化する原材料高
- ▶ 人手不足
- ▶ インフレによる金融市場の混乱

世の中の変化に対応する『代理店としての役割と責務』

『卸代理店』

- ▶ 幅広い販売店ネットワークを使った拡販活動
- ▶ 物流センターでの商品在庫量拡大、デリバリー機能向上

『直販代理店』

- ▶ 量産機種へのスペックイン活動
- ▶ 組込品の調達・納期管理
- ▶ 製品開発情報の収集



『販売店』

- ▶ 商品知識・技術獲得の為に研修等、人材育成支援
- ▶ 新規開拓
- ▶ 展示会開催ノウハウの提供・共催
- ▶ 業務改善・DX推進の提案
- ▶ EDI連携に向けた技術連携

『ユーザー』

- ▶ 生産性向上支援（Assy納入・ユニット化）
- ▶ 需給変動に則した部品在庫の調整
- ▶ 指定場所配送・指定仕分け梱包
- ▶ 外注先への部材納入状況の把握・共有
- ▶ 専用通箱の開発・運用による輸送コスト削減

『供給窓口としての役割と責務』

成長市場でのビジネスの特徴

世界の情報・業界の最新情報

高水準の要望

複合的な解決（システム・法務・税務）
価値の発見

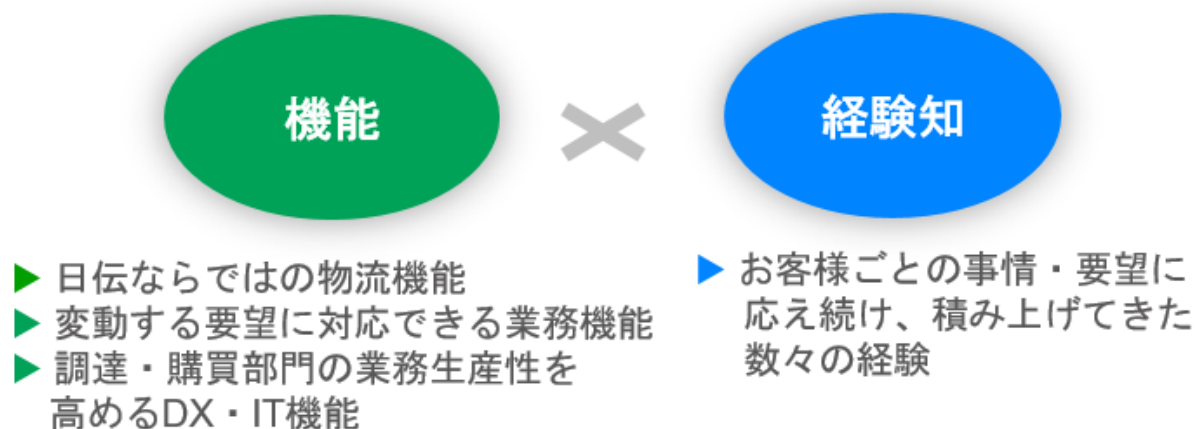
新たな接点・人脈の広がり

第4次中期経営計画 成長市場でのビジネス拡大



3次中計までに進化

4次中計で発揮する「日伝力」



第3次中期経営計画
顧客とともに開発した独自ノウハウ

第2次中期経営計画
1次中計を踏まえた発展事例

第1次中期経営計画
取組みを通じて培った経験知

◆イニシアティブ機能

- ▶ 発案すること、他社より先に動く
- ▶ 顕在化していない課題にも日伝から発案・提案

◆インテグレーション機能

- ▶ 2つ以上のものを組み合わせて、1つのものを創り上げる
- ▶ 前例のないことでも、実現する方法を描き、オール日伝にて創り上げる

◆ブリッジ機能

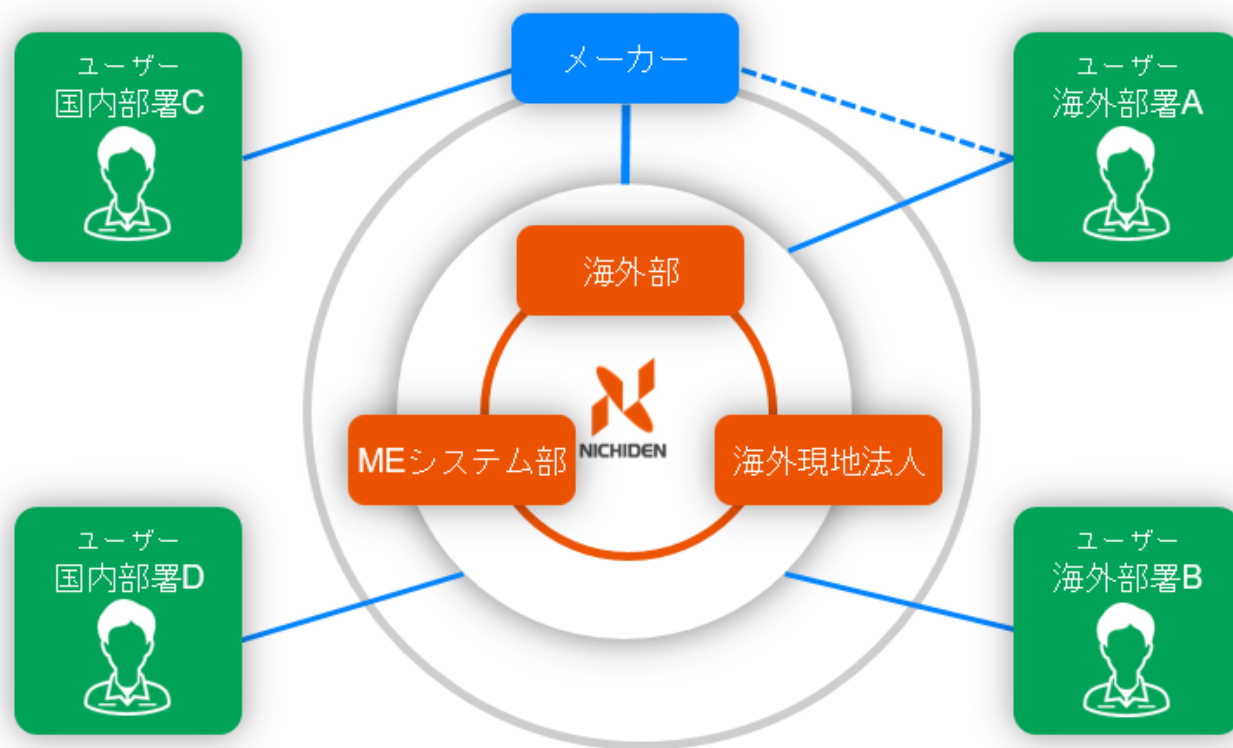
第4次中期経営計画 成長市場でのビジネス拡大



4次中計で発揮する日伝力

ブリッジ機能

▶ 通常では繋がらない・繋がりにくいものに橋を架ける



社会・環境課題

	背景	影響・変化
	▶ 地球温暖化 ▶ 環境汚染 ▶ 脱炭素社会・循環型社会への流れ	▶ エネルギーコスト上昇 ▶ 価値観の変化 ▶ 技術革新
	▶ 労働人口減少 ▶ ワークライフバランス ▶ 物流2024年問題	▶ 賃金、物流コスト上昇 ▶ 従来方法見直し ▶ 投資の加速

社会・環境課題への対応

企業が取り組む主な課題

地球環境に関する課題

- ▶ 環境負荷の低減
(材料、製造、使用後)
- ▶ 効果的な省エネ
- ▶ 再エネへの切り替え

社会的な各種課題

- ▶ 自動化、少人化
(製造工程、物流、管理)
- ▶ 作業負荷低減
(シニア、女性)



これまでの企業側の対応

まず出来ることから着手

電力測定

宣言・目標

省エネ品
切り替え

改善活動

これからの社会・環境課題への取り組み

今後拡大する企業側の対応

各社独自の取り組みが主体

設備投資

効果的な
削減

分析・解析

DX化

日伝の
出番！

各企業様のニーズを起点としたアプローチ



日伝の提供価値



現場のこともよくわかっている

わかりやすく一歩先を幅広に示す

「ちょうどいい」「目線が合う」



ハード面

機器の切替え、ロボット化...

ソフト面

監視ソフト、現場のDX...

障がい者雇用の推進

2021年1月より運営スタート
枚方ファーム
(ハーブ栽培)



2024年5月稼働に向け準備中
BYSN KADOMA ROASTERY
(コーヒー焙煎)



 **BYSN**



成果物 ※ドリップコーヒーバック (参考)

「大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証」を取得



2024年3月1日
最高位となる**三つ星認証**と**イクメン企業**である
という称号を大阪市より認証されました

株主還元策と資本効率の向上

自己株式の取得

株式の総数 : 100万株(上限)

(発行済み株式数(自己株式を除く)に対する割合 **3.29%**)

価格の総額 : **30億円** (上限)

期間 **2024年5月9日～2025年3月24日**

自己株式の消却

株式の総数 : 上記により取得した自己株式の全数

予定日 **2025年3月31日**

資本コストや株価を意識した経営

第4次中期経営計画での「市場戦略」「コーポレート戦略」に取り組むことでROEについては、**目標値の8%**を目指しつつ資本コストを上回る収益力の確保をいたします。
また、株主還元の検討、株主・投資家との対話に積極的に努めることでPBR1倍以上を目指します。



株主との一層の価値共有

譲渡制限付株式報酬制度の導入

取締役・執行役員に対する中長期的な企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを強化するため、譲渡制限付株式報酬制度を導入し、株主目線の経営を推進します。

東部第二物流センター新設

自家消費型太陽光発電システム、雨水再利用の自動灌水設備設置
エヌピーエーシステム移転と東部第二物流センターを併設
2025年秋 竣工予定



熊本MEシステム課 物流倉庫拡大

自家消費型太陽光発電システム設置
2025年5月末頃竣工予定



東大阪物流センター（旧西部物流センター）戦略的活用

雨水再利用の自動灌水設備設置
特定在庫スペース 倉庫業運用の整備 AGV展示場 工事請負スペース活用等
2024年夏 改修完了予定



設備投資

岡崎機械株式会社



エヌピーエーシステム株式会社



株式会社プロキュバイネットは 2023年12月より弊社100%子会社となりました

メカニカルパーツ&システムの専門総合商社として、
今後ともPROCUEbyNETの安定稼働と利便性向上に
努めてまいりますので、引き続き倍旧のご活用を賜りたく、
お願い申し上げます。



PROCUEbyNET

2024年3月25日、 株式会社アペルザを子会社化しました



月間60万人が利用するポータルサイトを運営



DXの先行モデルをつくる

DXアプリケーションや業務支援クラウドサービスを
「モノづくり」に関わる企業に幅広く提案することで、
労働人口減少に関する課題解決に取り組む企業様
の期待に応えてまいります

- ・日伝社内のDXを推進する
- ・業界全体の発展に貢献する



PURPOSE ～ パーパス ～

つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、
誠実にモノづくりの未来に貢献する

主要な数値の推移（連結）



（単位：百万円）

決算年月	2019年 3 月	2020年 3 月	2021年 3 月	2022年 3 月	2023年 3 月	2024年 3 月
売上高	124,604	112,334	102,751	123,964	131,609	126,912
経常利益	6,774	5,382	4,176	6,082	6,756	6,431
当期純利益	4,548	3,467	2,841	4,245	4,967	4,674
自己資本比率	72.1%	74.6%	71.7%	69.1%	70.3%	69.1%
R O A	6.5%	5.2%	3.9%	5.2%	5.6%	5.1%
R O E	6.1%	4.6%	3.6%	5.2%	5.9%	5.4%

主要な数値の推移（連結）



（単位：円）

決算年月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
B P S	2,404.85	2,442.16	2,557.49	2,652.83	2,748.72	2,900.78
E P S	144.82	110.41	90.48	135.2	158.19	151.79
P E R	10.9倍	19.2倍	24.2倍	16.0倍	12.0倍	17.5倍
P B R	0.67倍	0.87倍	0.86倍	0.81倍	0.69倍	0.92倍
配当性向	31.1%	40.8%	44.2%	48.1%	41.1%	42.8%
期末株価	1,616	2,125	2,190	2,157	1,903	2,656

分析

- ① R O E は上昇傾向にあり、2024年 3 月期は 5.4 % となり 3 期連続 5 % 台でかつ資本コストを上回る水準であったものの 8 % には届いていない
- ② P B R については、2024年 3 月期は 1 倍近くに改善しているものの直近 6 期を通じて 1 倍を下回っている状況
- ③ P E R については2024年 3 月期はプライム市場平均をやや下回る水準である

課題認識

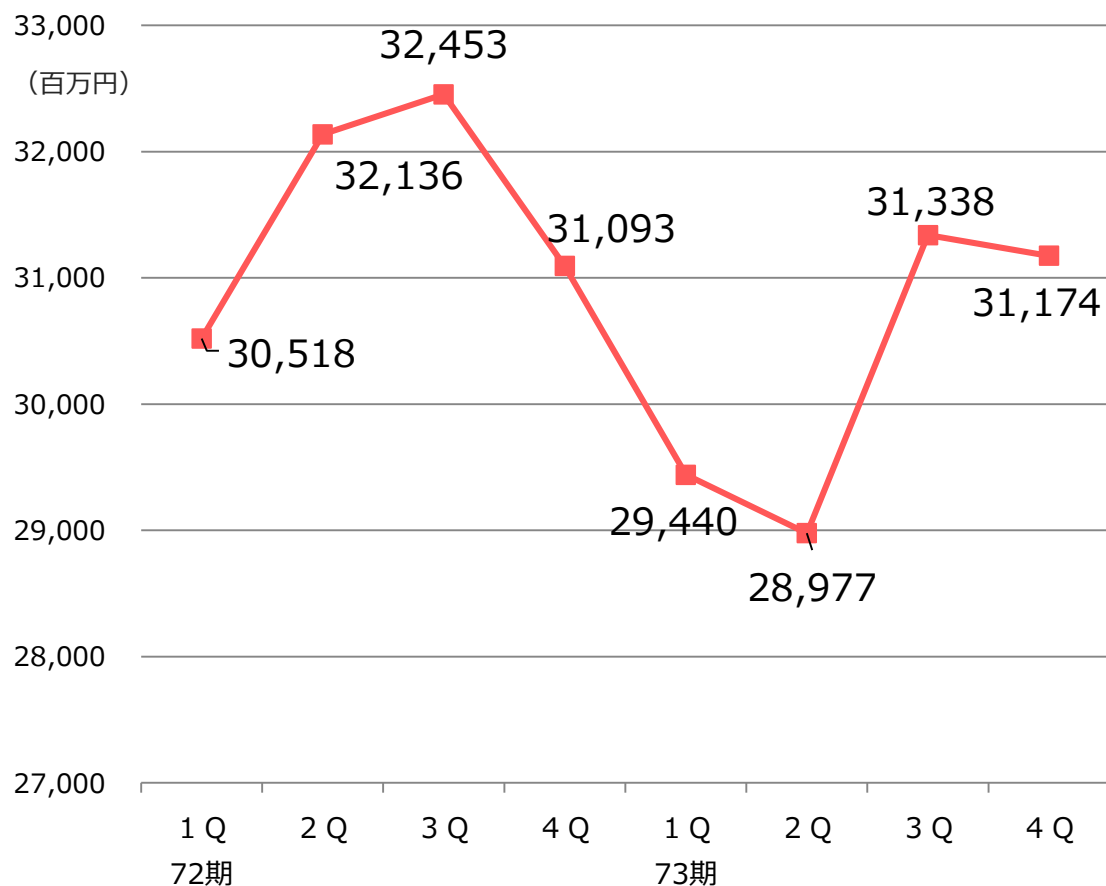
- ・売上総利益率改善による収益力の向上が見られるものの、R O E 改善に与えるボリューム感が乏しい状況となっている
- ・収益力の更なる向上のみならず生産性や効率性の向上に加え、資本効率に改善の余地がある

投資家の皆さまに、当社の中期経営計画における成長戦略につき、十分な理解・評価を得られていないことも要因であると認識しております。

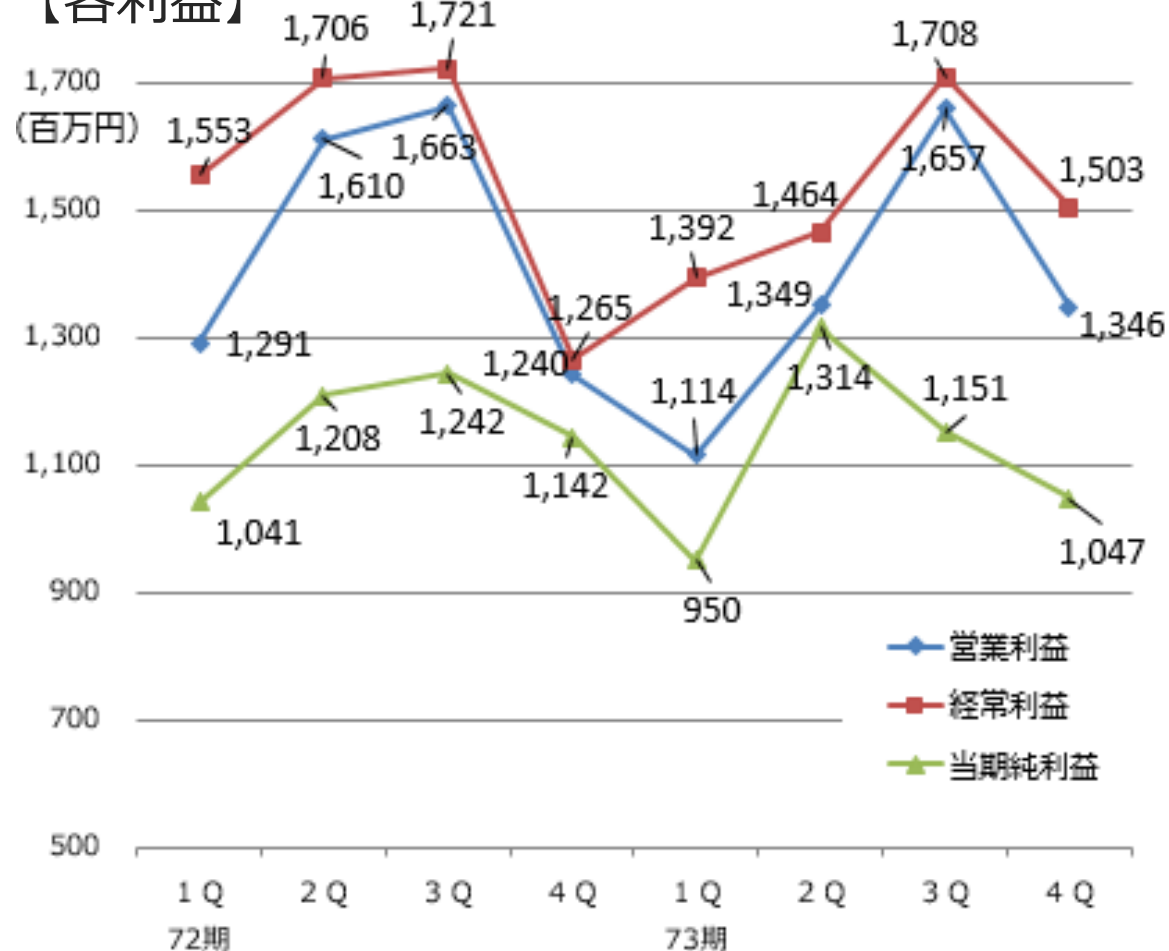
四半期業績推移【日伝単体】



【売上高】



【各利益】

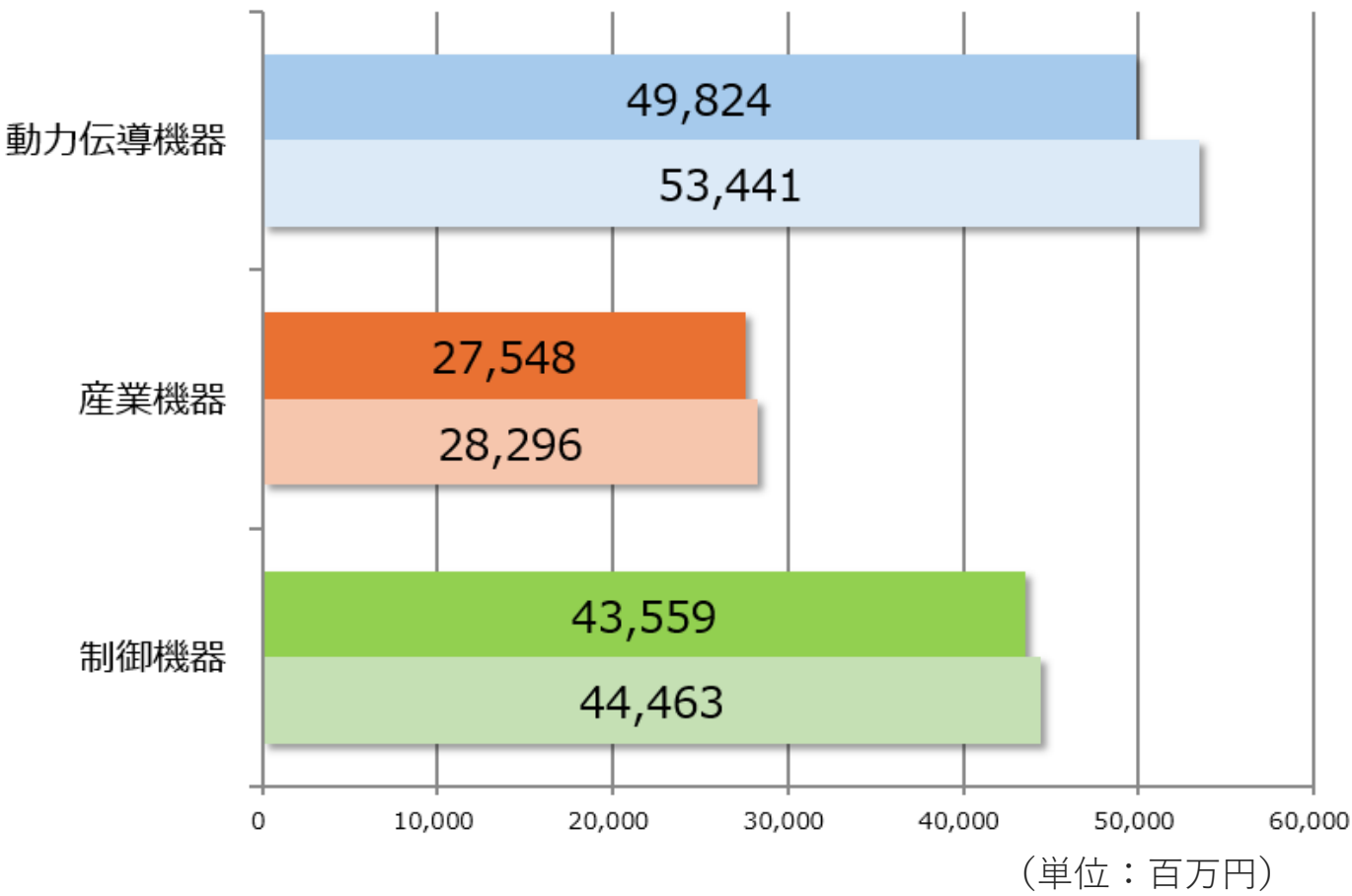


商品分野別データ【日伝単体】

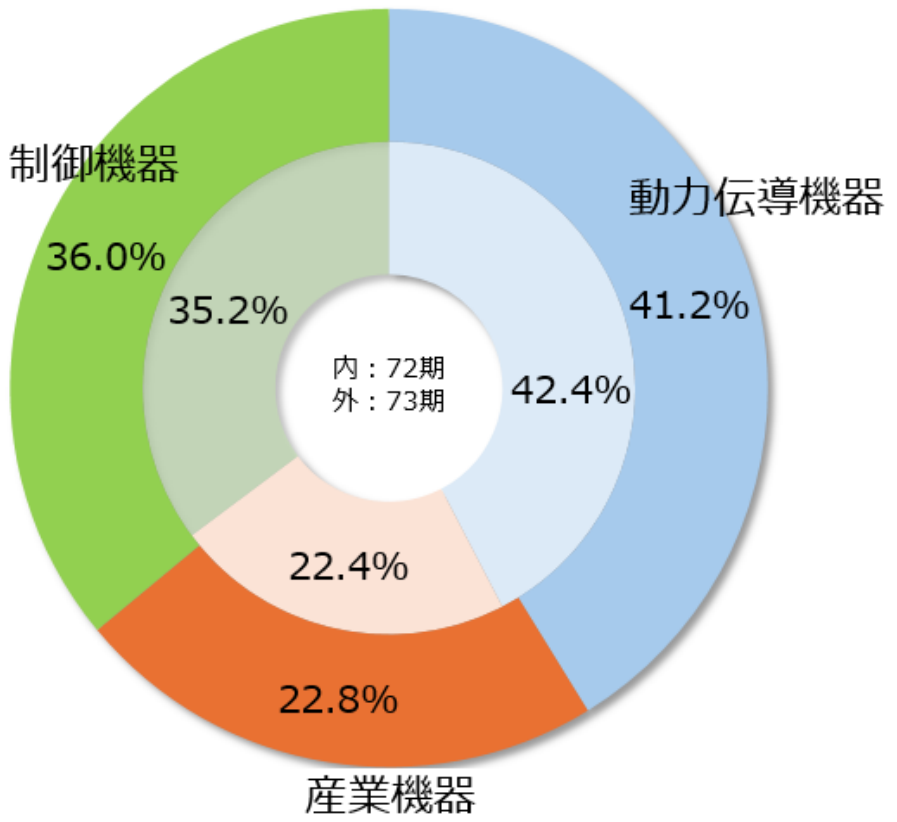


【売上高】

上側：73期
下側：72期



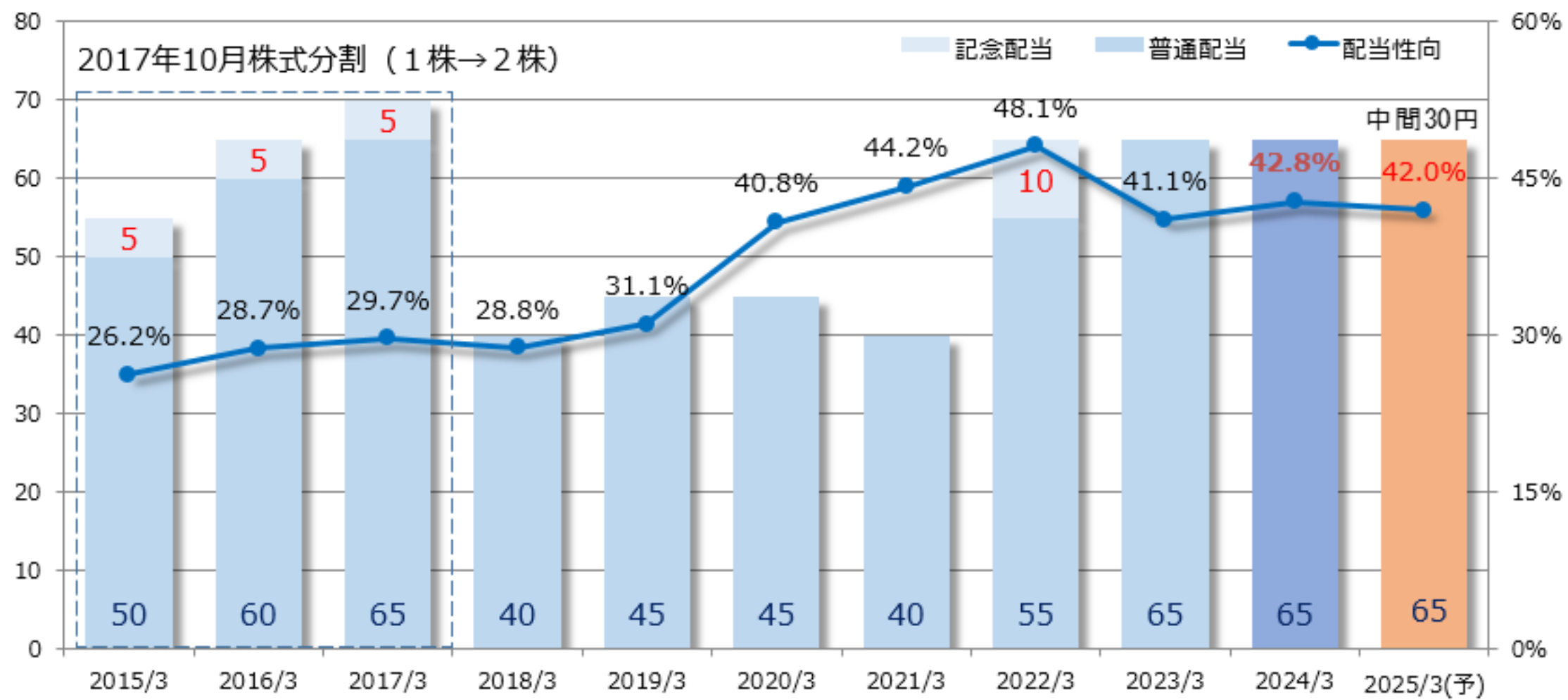
【占有率】



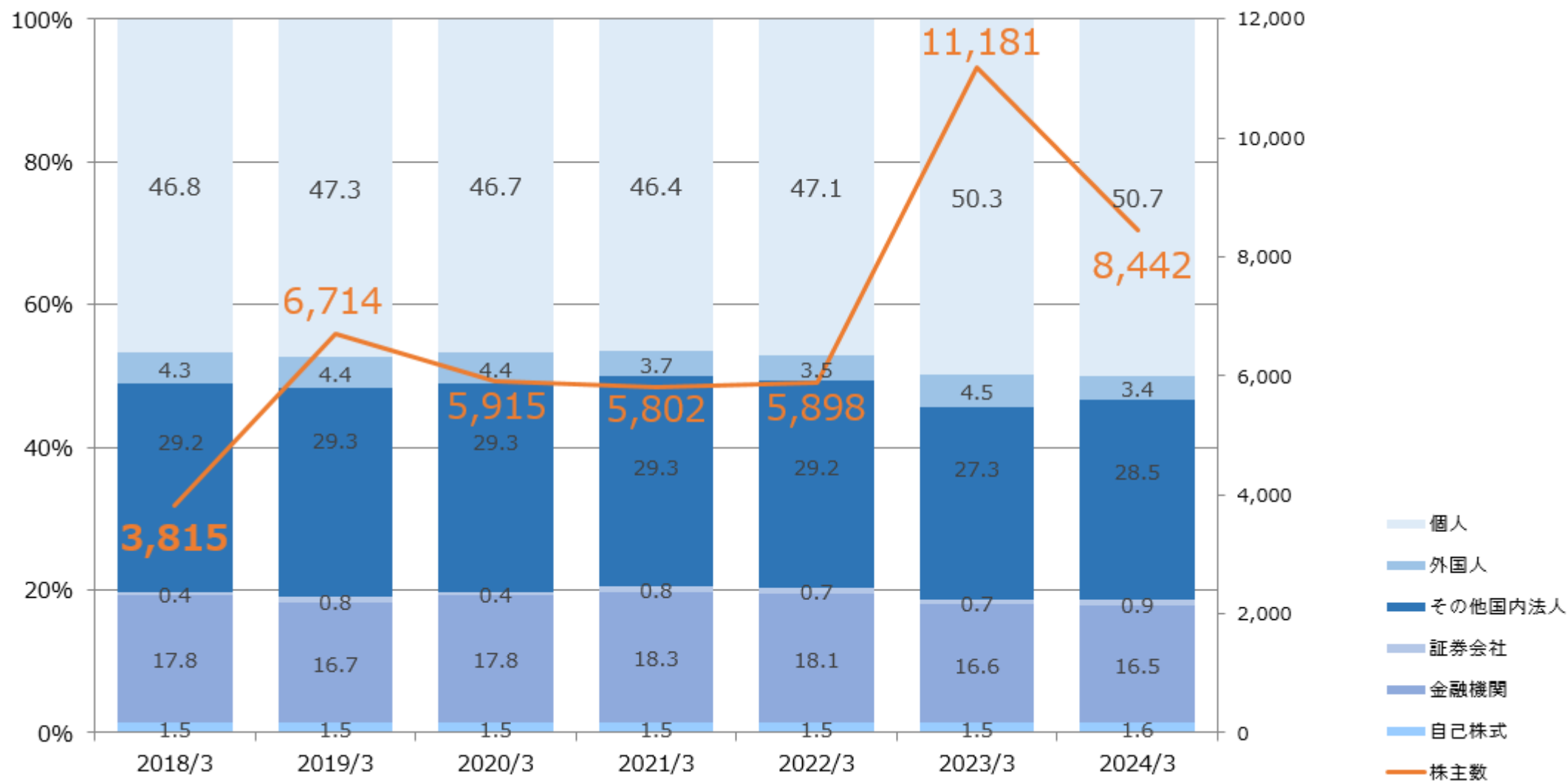
配当金・配当性向推移



(単位：円)



株主構成・株主数推移



株主優待制度①



QUOカード(クオカード)

3月31日基準(6月贈呈)

継続保有期間1年以上

100株以上1,000株未満	1,000円分	⇒	2,000円分へ変更
1,000株以上	3,000円分	⇒	5,000円分へ変更



QUOカードの発行金額の一部は、公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金」へ寄付され、環境保全のための緑化推進に役立てられます。

半生讃岐うどん・「こだわり厳選セット」無洗米

9月30日基準(12月贈呈)

100株以上1,000株未満
1,000株以上

さぬきうどん300g×3袋
無洗米2kg詰め3パック



ご清聴ありがとうございました

